

# 津麦ニュース 令和4年産 第1報

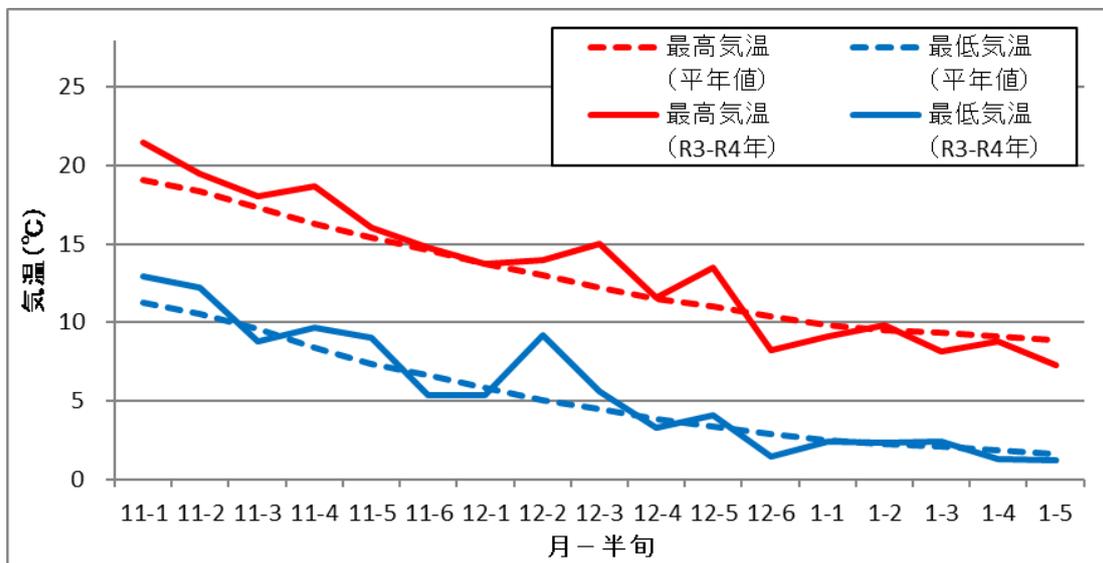
令和4年2月2日発行  
津地域農業改良普及センター  
電話:059-223-5103

麦の生育の進み具合は平年並みです。  
暖冬であった一昨年、昨年と比較するとやや遅い状況です。  
生育状況に応じた栽培管理を行いきましょう。

## <気象経過>

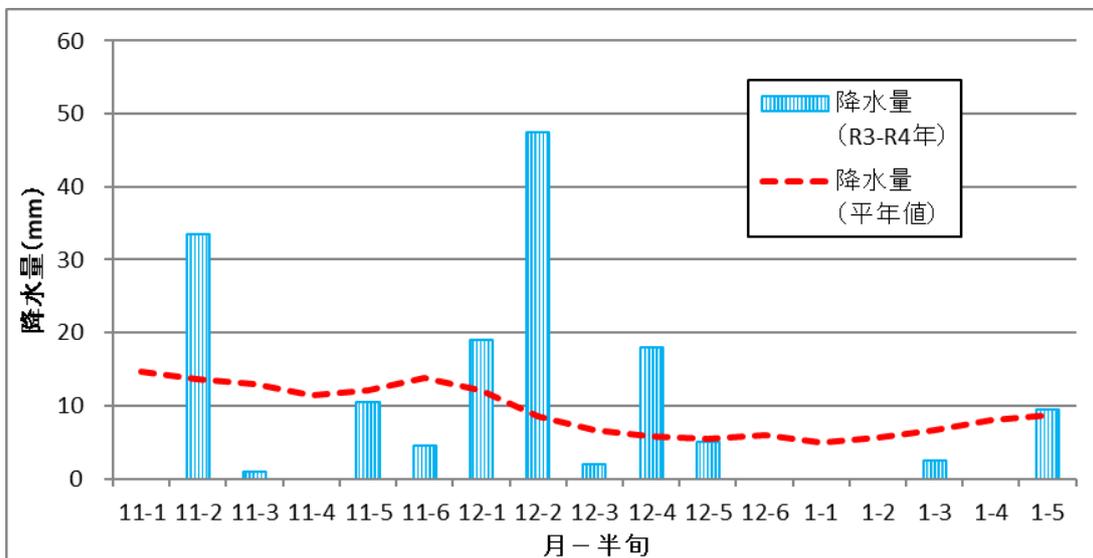
### ○気温

播種期となる11月は気温が高めに経過し、その後も12月第5半旬にかけて平年より高く推移しましたが、12月第6半旬以降は平年よりやや低く推移しています。



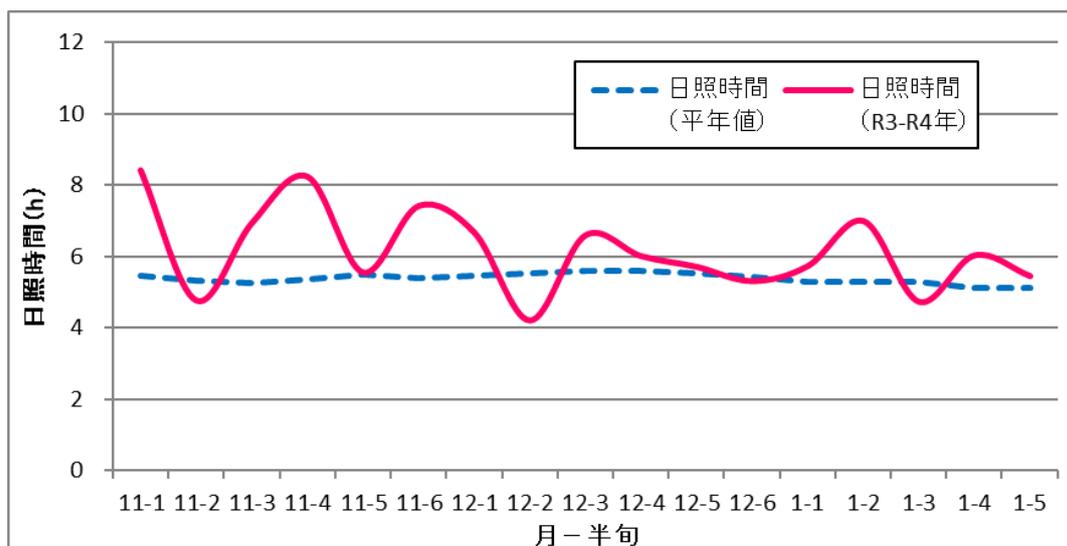
### ○降水量

11月第2半旬と12月第2半旬にまとまった降水がありました。12月第6半旬以降は降水量が少なくなっています。11月第1半旬から1月第5半旬までの合計降水量は、ほぼ平年並みとなっています。



## ○日照時間

播種期以降、平年並みからやや多めに推移しています。(11月第1半旬から1月第5半旬までの日照時間は平年比114%)。



## <麦の状況>

### ○ 播種作業

11月第2半旬に降水があったものの、以降は11月末まで時折少量の雨が降る程度で、播種作業は順調に進みました。大豆跡等の一部ほ場を除いて、11月末までに播種作業は概ね終了しました。

### ○ 生育状況

播種後の気温が高く、適度に降雨があったことから、出芽は良好です。12月第5半旬まで気温が高く推移したことから、初期の生育が進み、年内に4葉期を迎えたところがありました。しかし、12月第6半旬以降、気温が平年並み～低く経過し、生育は一時的に停滞しており、ほぼ平年並みの生育の早さになっています。

## ○令和4年産(令和3年播)小麦生育基準田の状況

【令和4年1月18日現在】

### 令和4年産小麦

令和4.1.18時点

調査場所	播種月日	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉色SPAD	葉齢 L	播種後日数
芸濃	11月10日	9.9	39.5	42.8	3.4	69
殿村	11月8日	12.8	216.0	42.7	5.0	71
白山	11月13日	12.8	418.0	46.8	4.2	66

(参考)

### 令和3年産小麦

令和3.1.18時点

調査場所	播種月日	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉色SPAD	葉齢 L	播種後日数
芸濃	11月21日	10.1	171.1	49.9	3.2	58
殿村	11月13日	10.0	216.0	47.3	4.5	66
白山	11月14日	11.4	418.0	50.9	5.0	65

### 令和2年産小麦

令和2.1.20時点

調査場所	播種月日	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉色SPAD	葉齢 L	播種後日数
芸濃	11月13日	13.1	355.0	44.4	5.0	68
殿村	11月13日	17.2	435.3	44.1	5.3	68
白山	11月13日	16.0	376.0	46.8	5.5	68

## <今後の対策>

### ○ 追肥(穂肥)

6葉期(幼穂形成期)は穂数の確保に重要な時期で、「肥切れ」させないことが重要です。6葉期を迎えたら穂数確保のため、追肥(窒素2~3kg/10a)を行ってください。

6葉期を迎える時期は、

11月上旬の播種では2月上中旬頃

11月中旬の播種では2月下旬頃

11月下旬の播種では3月上旬頃と予想されます。

### ○ 麦踏み

葉が3枚以上出たら麦踏み可能です。現在のところ、生育が進みすぎているところはありませんので、凍霜害防止のために生育を抑える目的での麦踏みは必要ありません。ただし、麦踏みには、乾燥や寒さによる株の浮き上がり防止、有効茎を増やし根をしっかり張らせるなどの効果もあります。麦踏みを行う場合は、ほ場がよく乾いているときに行いましょう。茎立ち期(節間伸長開始期)までが実施可能な時期です。

### ○ 排水口、ほ場の明きょ(周囲溝、排水溝)等の点検

例年、2月下旬頃から降水量が多くなってきます。排水性を確保するために、排水口や明きょ等を点検し、溝が崩れている場合は修繕を行いましょう。